

# 彙報

## 心理學讀書會

十一月八日午後三時より實驗室內讀書室に於て開催左の如き講演ありたり。

キヤノン氏の實驗に就て 文學士 黒田源次君

氏は先づ感情の表出的方面に關する從來の研究に就て述べ此れに對するキヤノン氏の實驗の意義並に其の價值を論じ、次に其の實驗の内容を大略紹介し、最後に「ジエームス・ランゲ」説に對するキヤノン氏の批評及び其れに對するエンジェル氏の辯護等を合せて紹介せり。講演後議論百出夜に入りて散會せり。

## 教育學會

十一月六日午後六時三十分より學生集會所にて開催、左の講演があつた。

教育行政に就て 深谷徳郎君

右はストレーヤー氏及びコロンビア大學教授ソンドイク氏の共著「教育行政」(一九一三年版)のうち主に教師を中心とした部分の紹介である。その内容は即ち教師に關する方面にては教師の教授上の能率或は教師の社會上經濟上の地位或は視學制度等に就ての統計的研究の結果を發表したるものである。次に學課々程に關しては小學校の課程及びその授業時間數の比較或はカレッヂ入學試験の缺陷を指摘して彼獨特の證明制度と學課試驗制度との折

衷説を立てた。また生徒の製作品に對する採點法の不備を矯正せん爲め獨創的方案を作り即ち習字作文等に對しては基本的標準となるべき作品の序列を設け凡て生徒の作品は之に依りて採點すべきである。しかし彼等の論殊に入學試験法及び採點方法などは彼等の自費する程科學的方法に非ずこれには幾多の非難のあることであらう云々。

講演後各會員の嚴肅なる議論が盛に交換せられ非常に緊張した例會であつた。

## 日本社會學院第五回大會

十月廿八日午前八時半より京都法科大學大講堂に於て左の次第によりて開催せらる。

### 一 開會の辭

京都法科大學教授 藤井健治郎氏

### 二 歡迎の辭

京都帝國大學總長 荒木寅三郎氏  
京都學博士 長大野盛郁氏  
京都府知事 木内重四郎氏

### 三 宿題研究報告

題目 人種競争  
報告者

京都法文科大學講師 米田庄太郎氏  
廣島高等師學校教授 新見吉治氏  
京都醫科大學教授 今村新吉氏  
醫學博士

休憩 正午より一時迄

四 講 演

(1) 國民的理想

熊本第五高等學校教授  
文學士

江部 淳夫氏

(2) 日本經濟上に於ける女子の地位

神戸高等商業學校教授  
法學士

津村 秀松氏

(3) 世界戰亂と平和運動

東京文科大學教授  
文學士

建部 遜吾氏

休憩 三時卅五分より四十分迄

(4) 民族と國民と世界文化

京都文科大學教授  
文學士

坂口 昂氏

(5) 日米關係問題

京都法科大學學長  
法學士

神戸 正雄氏

(6) 都市計畫に就いて

大阪市助役  
法學士

關 一氏

五 討 議

質問者

京都法科大學教授  
法學士

佐藤 丑次郎氏

應答者

京都法文科大學講師

米田 庄太郎氏

質問者

京都工科大学教授  
工學士

青柳 榮司氏

應答者

廣島高等師範學校教授  
文學士

新見 吉治氏

六 閉會の辭

東京文科大學教授 建部 遜吾氏  
文學士

此の日朝來の雨を冒して、聽衆堂に充つ。午後七時閉會す。  
同七時半より學生集會所に於て會員の晚餐會を催し、宴後明年開會の豫定なる第六回大會開催地、研究宿題、委員選定等の議事ありて。九時散會す。

新著紹介

聖書の話

宮川 巳 著作

凡そ讀書子に三種類ある。内心よりの要求の燃ゆる焔と鋭い理解力の槍とを持つて書籍の内容を征服し同化して行く智的戰士と、理解力は或程度迄あるが内心の要求は左程迄も強くない智的戰士とそれから燃ゆる如き内心要求の焔を有しはするが理解力に乏しい智的貧民とがそれである。而て此智的戰士に、豊富なる領土や糧食を提供し得る者には固より、又一般智的貧民を賑はさんとの目的より企てられた著書にも、多大の價值がある事の多いのは言ふ迄も無い。只獨り智的遊民のデイレックタント風な智的好奇心を單に満足せしめるに留まつて斯くの如き遊民を馳つて智的戰士に變ずる足るだけの靈性も缺けば、又去りとして智的貧民の讀むには稍々難解詳密に過ぎ、智的戰士の之を手にするには嚴密さや深さや熱誠を缺く書——殊に其題材が神秘的なる者を本質とする如きものに至つては私は餘り之を歓迎したく無い一人である。其は智的遊民に對する一種の智的藝妓の役目をするものに過ぎないから